

第 4 回幹事会報告について

○ 幹事会 平成 29 年 12 月 26 日（水）

（1）協議会規約の改正について

（2）目標達成のための取組（案）について

・各機関から報告頂いた内容を踏まえた事務局提案の取組（案）内容について

（3）今後の進め方について

（4）台風 21 号による出水の対応について

（5）その他

※参加者は次頁のとおり

関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会

第4回幹事会 出席者名簿

日時：平成29年12月26日（火）10時00分から12時00分
 場所：高田河川国道事務所 2階大会議室

構成機関名	役職名	氏名	出欠	代理・随行者
高田河川国道事務所	副所長(河)	池田 博明	出	
上越市 防災危機管理部	危機管理課長	坂井 晃	出	
糸魚川市消防本部	消防長	大滝 正史	(代)	(代) 消防防災課長 小野 浩 (随) 消防防災課防災係長 伊藤 伸一
妙高市	総務課長	久保田 哲夫	出	(随) 総務課危機管理室 防災係長 田中 宏顕
新潟県上越地域振興局 地域整備部	治水課長	鍋倉 章宏	出	
上越東維持管理事務所	工務課長	相田 一行		
新潟県糸魚川地域振興局 地域整備部	河川・砂防課長	平出 貞男	出	
気象庁 新潟地方气象台	防災管理官	成澤 達也	出	
上越地域消防事務組合	消防防災課長	広瀬 幹夫	出	
オブザーバー機関名	役職名	氏名		備考
新潟県 上越地域振興局 農林振興部	農村計画課長	三富 文彦	出	
中部電力(株) 塩尻電力センター	姫川第二ダム 管理所長	柳澤 忠寛	出	

【第4回 関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策幹事会 議事要旨】

日時：平成29年12月26日（火）

PM10:00～12:00

場所：高田河川国道事務所 大会議室

1. 挨拶

- ・北陸地方整備局 高田河川国道事務所 池田技術副所長挨拶
- ・事務局：議事次第に沿って進行

2. 議事

(1) 協議会規約の改正について（資料1）

- ・一同承認

(2) 目標達成のための取組（案）について（資料2、3）

- ・各機関から報告頂いた内容を踏まえた事務局提案の取組（案）内容について

【質問・意見】

- ・防災教育に関する支援校の選定も含め、一同承認

Q. 上越市：5年間で達成すべき目標の達成については、財源によるところがあり、100%達成できない可能性があることを認識いただきたい。

A. 事務局：目標は、あくまで目標であり、必ず達成しなければいけない内容とは考えていない。そのためのフォローアップを予定しているので、財源状況も含め適宜修正いただきたい。

A. 副所長：資料2の21ページにも記載のとおり、「自治体については、実施に向けた予算確保が共通の課題となっている」ことは認識している。

(3) 今後の進め方について（資料4）

- ・一同承認

(4) 台風21号による出水の対応について（資料5）

Q. 上越市：台風21号の災害の際は、いたるところで浸水被害があり、水防団による活動を行ってきたが、やはり最後の砦としては、高田河川国道事務所が保有する排水ポンプ車が大きな貢献を果たした。御礼を申し上げるとともに、今後とも支援していただきたい。

A. 事務局（高田河川国道）：今後とも支援していきたい。

Q. 上越市：平成25年に矢代川が決壊した時もそうであったように記憶しているが、台風が太平洋側を通過した際に、このような豪雨が発生しているように思う。因果関係があるのか。

A. 気象台：台風は、外側に強力な雨雲が発生する場合があります、今回の台風21号もそれにあたると。これに内陸に山々が存在する地形的な要因が重なり、雨雲が停滞することで長期に豪雨が発生したのと考えている。

Q. 系魚川地域振興局地域整備部：今回の台風21号では、出水や土砂流出による河道閉塞などの被害が多発し、高田河川国道事務所からは照明車をお借りした。ブロックについても必要であったが、迅速性が求められていたため、運搬距離の短い他の箇所から調達した。しかしながら、このような会議で常日頃顔を合わせ、話をしていたこともあり、協力・支援が円滑になったものと思う。災害対応の観点からも減災対策協議会、あるいは水防連絡会が重要だと痛感した。

A. 副所長：やはり、このような場での情報共有が重要であったと考える。

(5) その他（資料6）

Q. 副所長：水防訓練の日程は、正式決定か？

A. 事務局：あくまで最終承認は水防連絡会にて行うが、事務レベルではこの日程で確定とし、関係各位に周知の上、日程確保をお願いしたい。

以上



【幹事会の様子】